



# 防災つじぞう

発行 辻堂地区防災協議会  
2026年(令和8年)3月  
第38号  
事務局 辻堂市民センター  
TEL:0466-34-8661

## 津波避難 特集号!

### 巻頭言



辻堂地区防災協議会会長  
國弘 宏祐

今回の号は津波避難特集です。2025年7月30日、カムチャッカ半島沖の地震により太平洋沿岸に津波警報、避難指示が発令されました。

その時の皆さんはどのような行動をとられたか、地域でどのような動きがあったかを、当協議会役員で情報を持ち寄ったり、市民センターまつりに来られた方からアンケートをいただいたりして情報を収集しました。

また、2025年12月11日には、藤沢市の防災部局や辻堂市民センターの職員を交えて、津波避難について意見交換と話し合いを実施しました。

これらの過程で得た情報を整理・分析し、辻堂地区における当日の避難行動の課題と対策を考えてみました。是非裏面までお読みください。



参加者による熱心な意見交換



市民センターまつりで津波避難アンケート実施

### 7/30 津波避難警報時の動き

当日の動きをマップに落とし込んでみました。津波避難として高い所に避難できた行動(①~③)、生活に影響の出た現象(④~⑥)がありました。

①	集合住宅は棟内の上階に避難 例:辻堂団地 ヴェレーナ 他
②	津波避難ビルに多くの避難者 例:辻堂市民センター 八松小学校 他
③	高台は避難者で混雑 例:堂面第2公園
④	JR以北の商業施設に避難者多数 例:テラスモール
⑤	交通機関停止で帰宅困難者が発生 例:辻堂駅周辺
⑥	北に避難する車で大渋滞 例:鶴沼海岸引地線 他



赤線:大渋滞した道路



※この色付マップは、辻堂地区の「津波ハザードマップ(令和2年度作成)」の部分抜粋です。神奈川県が定めた最も厳しい条件に基づき、津波により浸水が予測される区域や浸水深を示しています。詳しくは右の2次元コードでご確認いただけます。

裏面もご覧ください

# 避難行動・日頃の災害対策について

自分や周りの人の命を守るために、緊急時にはどのように判断し行動すればよいでしょうか。また日頃の備えなどはどのようにすればよいでしょうか。全ては紹介出来ませんが、大事な部分をピックアップして紹介します。

## ①津波の種類と避難行動

今回のカムチャッカ半島沖の地震に伴う津波は、右の表の遠地津波に分類されます。

この日は9:40に警報が出て、到達予測は同日11:00となっており、自分が安全な場所にいるかの判断や、避難行動をとって安全な場所に移動するまでに、1時間以上の時間がありました。

一方で、津波の到達が早い近地津波が起こった場合はどうでしょうか。最も到達が早いと予想されている相模トラフ沿いの海溝型地震（西側モデル）では、地震発生後に藤沢市へ最大津波が到達するまでの時間は「8分後」とされています。

項目	近地津波	遠地津波
発生場所	震源地の近く (通常100km以内)	震源地から遠く離れた地域
到達時間	数分から十数分程度	数時間から十数時間程度
波の特徴	波の到達が早く、非常に高さが大きいことが多い	波の高さは比較的小さいが、複数の波が長時間続くことがある
被害の特徴	突然の襲来で避難時間が短く、大きな被害が出やすい	避難時間は比較的ながるが、広範囲に被害が及ぶことがある

警報が出たら、すぐに情報収集と避難を始めてください。津波到達予想時刻や津波の高さなどをスマホやテレビ等で確認し、自分がいる場所が安全でなければ、海から遠ざかりながら、時間内に到達できる高台や津波避難ビルを目指します。日頃から、何分でどこまで避難できるか、実際に試してみることが大切です。

## ②緊急用持出袋の用意を！

地震や津波は、今回のような猛暑の最中であつたり、豪雨の日、真夜中に起こることもあります。そのような過酷な状況であっても、安全な場所までたどり着かなければいけませんし、安全になるまで・救助が来るまでは自分で命をつなぐ必要があります。

こういった事態を想定して、日頃からの備えをしておくことが大切です。ある程度長期の避難生活を想定した備蓄品だけではなく、右の一覧を参考に「緊急持出袋」を用意しておきましょう。警報時にすぐに持ち出し避難できるように、玄関などに置くのが理想です。

### 緊急用持出袋 中身チェックリスト

- 飲料水 (1人1日500ml×3本が目安)
- 非常食 (缶詰、乾パン、エネルギーバー等)
- 救急セット (絆創膏、消毒液、常備薬)
- 懐中電灯・予備電池
- 携帯電話・充電器 (モバイルバッテリー)
- 防寒具・雨具 (レインコート、毛布など)
- 貴重品 (身分証明書、現金、保険証)
- マスク・除菌グッズ
- 笛やホイッスル (助けを呼ぶため)

### その他あると便利なもの

- 着替え
- タオル・ウェットティッシュ
- 筆記用具・メモ帳

## ③避難は原則徒歩！



鶴沼海岸引地線の渋滞 (辻堂東海岸付近)

左の写真は、普段ほぼ渋滞をすることがない鶴沼海岸引地線 (引地川沿いの道路) の当日の様子です。警報が出た後は、北へ向かう車線側はこのような大渋滞となりました。この原因は、藤沢市の海沿いで東西に延びている国道134号線を走行していた車が、警報発令後一斉に北に向かった事です。

さらに、辻堂地区内からも「車で避難」・「車だけ退避させる」といった行動が見られたことで、渋滞に拍車がかかりました。

普段とは異なるこの町の様子を、しっかり覚えておきましょう。東日本大震災では、渋滞などによる逃げ遅れで車避難者の多くの方が命を落としました。例外もありますが、避難は徒歩が基本です。